広報 こすど

発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行人 印刷人 矢部藤三郎

生活合理化へ一歩前進
町を挙げての新正月実施を喜ぶ

この事に付ては昨年も相談をいたしましたが、時期が遅れた為、間に合いませんでした。本年は十月中に二回も嘱託員や各種団体長官公衙長の皆様から御集まりを願い地元の意見を充分尊重し協議を進めた結果、満場一致で本年から実施する事に決定いたしました。この結果を近隣の市町村には通報して協力を求め町内全部に対しては回覧板ビラ等を廻して宣伝し徹底を図りました是非町内皆様の御協力により二度正月と云うような不経済を止め新正月一本できれいに実施せられ生活改善の趣旨に添うよう御協力を御願い致します。

小須戸町長

小須戸橋の永久橋架替陳情について

小須戸橋架替に付ては本年三月役場楼上で議会の懇談会を開いて居った時渡辺良夫代議士が安田橋の問題で五泉市へ来られ白根へ向われる途中私の町の公民館に休んで頂き議員一同と共に公民館の二階で小須戸橋を永久橋に架替陳情をいたしました処渡辺代議士はこの議員一同喜び尚今後の速進を御願して参りましたが、小須戸橋の架替も見通しが付いた様に思います。この後は地元県議の御協力を得て県並に県議会に陳情し実現の速進を期さねばなりません。亦当面の問題となって居る河状整理とは深い関係があるから、これ等の事も充分考慮して運動せなければならんと思います。

十一月一日　小須戸町長

私は災害でなく小須戸橋の永久橋架替一本の陳情を致しました処、米田次官は陳情を聞き乍ら首を振って頷いて居られました。その後更に十月二十四日議員一同と共に上京し議会開会中なので第三議員会館に渡辺代議士を訪ね秘書の連絡で控室に面会し、小須戸橋を永久橋に架替陳情をいたしました処渡辺代議士はこの橋は既に建設省と協議し計画の中に入れる準備中だから心配ないと云われ一同喜び尚今後の速進を御願して参りましたが、小須戸橋の架替も見通しが付いた様に思います。この後は地元県議の御協力を得て県並に県議会に陳情し実現の速進を期さねばなりません。亦当面の問題となって居る河状整理とは深い関係があるから、これ等の事も充分考慮して運動せなければならんと思います。

十一月一日　小須戸町長

新規購入された中型ジープ式消防ポンプ

喜びの 全町新正月一本化

数年前から新正月の一本化について話が持ち上っていたが、何時の間にか消え又時期になると話が盛り上ったりして幾度となく繰り返されて来た。

昨年も大分話がまとまりかけたのだが何かの話の行違いか、それとも全町が同調するまでに至らなかったのかお流れになったが、今年から新生活運動の一環である新正月一本化が実施されると聞いて、誠に喜ばしい事であると同時に熱心に最後までこの軌道に乗せてくれた、推進指導的立場にお努力された方々に満腔の敬意を表します。

この新正月一本化は上からの形式的な指導に依るものでなく、全町民意の盛上りからで、昨年のようにお流れになる事はまず無いと思うが、これまでに幾度となく婦人会や青年団等の会合や集会で卒先提案して来たのであったが、誰しもが新正月の必要性を十分訴えていながら、ながい間の習慣はなかなか改まらなかった。

敗戦についで社会の大変革が行われ、一刻も静止する事のない時代の波に乗って行くには根強い封建的環境に甘えて居られないと思う。

すべてが時代の流れにそくしているとき、私達の生活もまたこれに同化善導して行かなければならない。

他町村では町村合併に伴って、新正月をすでに数年前から実施しているとき、何事にも他町村の先端を行く当町が、お正月だけ旧態依然たる新旧二本建であったのが、むしろ不思議なくらいに思えた。

新旧正月について各々の主張もあろうが、現今の時代の波に添って行くには、今更論議の余地もないと思う。

たまに持てる人はお正月は一度より二度にして美食を取った方が好いと云う人があるが、もてる者の悩みなぞと云うものは、ついぞ吾々一般庶民には知らないが、もたない者の気楽には馴染み深いものがある。簡素な生活は雨にも心を痛ましめる事なく、まことにすがすがしいものである。

お正月を二度やるところを一度にしたならば経済的にも又心身の苦労も大きく省けよう。

吾々清貧の一般サラリーマンは、民主化された合理的な幸福の生活をと前々からの念願であったが、今までは根強い封建的環境に押流されていたが、このお正月から新正月一本となった事は何より喜ばしい事である。又新正月一本になってお餅のあるお正月を迎える中小学校の冬休みは、生徒にとってもその喜びは一しおであろう。

だが何事にも形が問題なのではなく、精神が問題なのではあるまいか。時代に添い正しさに目ざめ、朗らかに満たされ力強く働き、合理的な生活をいとなむ、そこに真の新生活運動が生まれるものと思う。

全町民がこうした認識を得て新正月に踏みきったことは本当に喜ばしい事である。こうして見るとき、町全体の調和と言う事が非常に重きをなしているものであり、全町民が新正月に踏み切ったお心持で、挙町一致して時代の流れにそくして行くことこそ、町勢の伸展に大きく響くことであろう。

（壺屋徳一）

施を賛成された町民各位の勇気に敬意を表します子どもたちもどんなにかすっきりした気持で新春を迎えることでしょう。

一部の人だけが合理化する事はたやすい。少々おくれても全部が納得して実施する事こそ平和な町の姿です。一事が万事これからの健実な歩みに期待いたします。

中学校長　坂井冨三郎

新正月の実施についてはさして深い反対理由がある訳ではないが、長い間の習慣は改めにくいものであり、又職業によっては多少都合の悪い事も事実のようである。

しかし今年は時代の流れと周囲の状勢に順応しなんの反対もなく、町民そろって新正月を迎える事を喜ばしく思う。

早朝初詣り済まし厳粛な気持で新年を迎えるもよし、又こたつの中で投げ込まれた一たばの年賀状を見ながら新春を寿ぐもまた良かろう。

いづれにしろ同じスタートラインに並び「さあ今年も元気でいこう」とお互に励ましあってめでたい年の第一歩を踏み出せる事は嬉しい限りである。

館長　宮崎純能

子どもたちを喜ばせたいために 小・中学校へテレビを寄贈

横町の青木勇一郎さんは来春八十才を迎えられる喜びの意味で、今回小須戸小・中両校へ一七インチ大型テレビ各一台を寄贈された。両校ともかねてテレビについては何とかこれを設置したいものと、PTAその他を通じいろ〳〵資金面について方策を考究中であったが、今回の御寄贈は特に学校から参上してお願いしたのではなく、全く自発的にたゞ〳〵子供達を喜ばせてやりたいという御一念からであって、その点深く敬意を表するとともに共に心から御礼を申したいものである。

横町の青木さん

だけに、全く夢ではないかと喜んでいる。

新潟県コンクール入選作品 「無名の偉人を読んで」

小須戸小　井上とみ

世界にはいろいろな偉人がいます。死んだ人や生きている人など、数え切れない程の人が、国や世界の為に働いている。

この本の中には、まんが、しゃ大工、医者などの人物が出て来ましたが、これが何を意味しているのかわかりませんでしたが、読むにつれてだんだんわかって来ました。

それは名を知られている人は、たしかに偉いが名は知られていなくても偉い人が世界には数え切れない程いるという事でした。名を知られた人ばかりが偉くないという事は、もっと他に名を知られていない人達の中にも偉い人が数え切れない程いるという事でしょう。

私達にはそれを見ないう必要があるというのが、この本の目標だったのではないでしょうか。

野口英世やエジソンなどは、死後も偉人とされ国や世界の人々からうやまわれています。それに比べて名の知られていない大工や医者は、どのように考えられているのでしょうか。だれもがみなれ人間です。偉い人をうやまうのは当然ですが、他人が選んだ偉い人ばかりでなく、自分でも偉い人を探し出し、自分で探した人をうやまうという事もいいのではないでしょうか。どこに偉い人がいるかという事を考えてみる必要があります。

自分の囲りや家の近所などにもいるのではないでしょうか。ただ探すのではなく、どんな人が偉い人であるかという事を知る事も大切です。だからといって私は知らないから探し出す事は出来ないといって一ぺんにやめてしまってもいいのでしょうか。

大工さんや畳屋さんなどの中にも偉い人がいます。偉いから記念日を作るというと、よほど名の知れている人です。でも記念日がないから偉くない事などありません。

偉い人はどんな事をしているのでしょうか――私は世の人々の為に働く事が一番だと思います。

あの人は偉いと思ってもただ偉いと思っているのでは何にもなりません。

自分が偉いと思ったらそれに従い、自分の今までして来た事を反省してみるのが一番いい事だと思います。

ラジオやテレビのアナウンサーも偉いし、清掃車夫も偉い。道に落ちている紙くずを拾っています。その後はきっときれいになっています。それを見たら自分もそのように紙が落ちていたら拾ってもいいのですが、拾いたくなかったら、せめて紙をすてないようにつとめるべきです。

このように名を知られていない偉人は世の中に数え切れない程います。もっと私達は、自分達はどんな事をしているかを考えてみなければなりません。自分のまわりの人と見くらべ、自分のまわりに世の為になっている人がいたら、それを参考に私達も世の中の為に働きつくさなければならないと思います。

風間先生談

「無名の偉人」の文は、読後感を中心として物事を深く考え、自分の生活態度の反省にまでもって来て、うまいことばで文章をかざることなく、自分の考えをドンドン書いていった事が良いところだったと思います。

子どもたちに与える本は難しいものですが、何かしら子どもの頭に良かったという考えが残るような本を撰択してやりたいものです。

水稲増收競作会 授賞

十日農協に於て今年の水稲増收競作会授賞式が開催された。

▽団体の部△

(1)四石五八二四　小須戸第一農組　(2)三石八六七八　宮家農研A　(2)三石七四一二　小向農研A　(3)三石七二四二　横川浜農研A　(3)三石六二七二　横川浜四H　(3)三石五六一六　横川浜農研O

▽個人の部△

(特)オクマサリ四石八七二　加藤清衛(小須戸第一)
(1)オクマサリ四石七九四　加藤幸雄(小須戸第一)
(2)銀まさり　四石六〇三　野崎三郎(小向)
(2)オクマサリ四石五六九　笠原弘司(小須戸第一)
(2)北陸五二号四石五四九　穴沢和彦(小須戸第一)
(3)北陸五二号四石二三四　高橋徳市(竜宝)
(3)越　栄　四石二二二　新井山達太郎(矢代田一)
(3)北陸五二号四石一二八　井上平八郎(小須戸第一)
(3)金南風　四石一〇八　武沢七郎(矢代田二)
(3)北陸五二号四石〇六一　鈴木喜一郎(水田)
(3)K五号　四石〇四四　野崎清一(小向)
(3)フクミノリ四石〇〇八　堀内幸平(横川浜)

12月31日 工業統計調査実施

この調査は、全国の製造工業について種々調べ、製造工業の面から我が国の経済活動の実態を明らかにする重要な統計を作る為に行われるものです。

後日、調査員が皆様の所へお伺いする事になって居りますが、その折は何卒御協力下さるよう切にお願い致します。

経済課

さなぎ 公民館にテレビを！

弥彦山頂より本放送はじまって来の町のテレビ熱はすさまじいもの…と言っても、軒並に機械を取りつけたという意味ではなく、時たま店頭に備えられたテレビの前に道路まではみ出た大供小供の物見高い風景を言いたいのだ。

しかし考えて見ればもっともなこと。一台六万七万円という値段では、われ〳〵庶民階級から見れば、とてもとてもはるか高嶺の花である。当分の間の単に珍らしいからというだけでなく、恐らく今後もお正月特別番組とか、大相撲初場所ともなれば冷たい厩木に立って、いつまでも店内をのぞきこんでいる悲しい庶民の姿が絶えないことであろう。

さて、そこで私は提唱したい。

町の文化センターと言われ、町民の茶の間と呼ばれる公民館（分館も含む）に先ず取敢えず一台を備える事だ。将来できたならば各部落公会堂にも欲しいものだ。

教育放送その他、子供達の為に各学校に施設する事などは、今更論をまたないことだ。

「現在の乏しい町財政ではとても…」と当局の方々はおっしゃるだろう。それはわれ〳〵庶民にも良く分っている。しかし本当にわれ〳〵庶民大衆に思いやりの気持があるならば、そこには何とか開ける道もあるのではなかろうか。たとえば四千万町予算の一割とは申さない、五分とも申さない、一分だけ除約する事によって、最低五台は備えられるのだ。若しそれ〇・二分の除約としても最低公民館本館に一台は置かれる。

特志家の御寄附でもあれば更に幸いである。

全町民一致の新正月第一年を迎えるに当り、庶民への暖かい贈物として是非各公民館へテレビを備えて頂きたいことを切望するものである。

（新保　一子沢山）

原稿募集

わが家の正月の楽しみ

「おらとこでは正月になると、こんげことして楽しんでいるてべ――」といった軽い気持で、食べ物のことでも、遊びのことでも、なんでもかんでも結構です。自分の家での正月の楽しい過ごし方をお知らせ下さい。

◎原稿用紙（四百字詰）二枚程度

◎〆切　一月二十日

◎採用の分は「広報」に掲載し、なお記念品をお上げいたします。

孫は可愛いもの お姑さんにも理解を

「幼児の取りあつかい方」座談会

とき　十月十日午後二時より四時まで
ところ　公民館
講師　新潟婦人少年室長　増尾先生

◇お姑にほしい理解

最初に若いお母さん方がお姑さんとの間にはさまって、わが子を育てるむずかしさが切り出されました。

本を読んだり、お話を聞いたりして時代にふさわしい育て方をと願っても、まだ経験がない。本なんか見ての育て方なんて何になるものか、とお姑さんのいってん張り

或る嫁さんの家では、五十幾年目に赤ちゃんが生まれた為お姑さんがおびやかが明くとすぐ自分のところにとってしまったといい、又或る若いお母さんは「うちのおばあちゃんは食べものは制限なく与えるし、あゝもあぶない、こうもあぶないとかまいすぎて、年寄の愛玩物みたいに思われるが悪いと思うが口には出せないし」という事でした。

これに対して増尾先生はおっしゃいました。

「結婚は心の安定、心のよりどころ、心をささえてくれる人を求める事にもあって、お年をとって配偶者に先だたれたりなどすると、孫に心のよりどころを求めるものである。子供が犬や猫を可愛がる事も同じく心の安定を求め、自分より小さいものを可愛がりたい本能によるものである。孫を可愛がる事は、けんしんの愛情でもあり、孫により一日生きてゆく張合をもつので、お年寄から子供をとらぬ方がよい。母親につかなくなる心配もあるが、母親はあまり神経質にならぬこと。」という事でした。

◇子供はのびのびと

次に「子供のいうがまゝに、ほっするがまゝに育てる事は克己心のない子供になり、一人で社会の仲間入ができない弱い人間になってしまう事がある。良い悪いは小さい時からはっきりおしえた方がよい。

あそびについては思うぞんぶん自由にさせてやる事、あそびは子供の一日の生活であり又経験でもある。あれもいけないこれもいけないという事は、のびようとする子供の芽をつみとる事になるかげで気をもんでるお母さんは言いすらい事はその時でなく、後で話合う機会をつくる事だ。

お姑さんもお母さんも集中するところは一致しているのだから、しっかりした気持がお母さんには

にぎわった文化祭（定校作品の部屋）

なんといっても大切なのである。」愛玩物という考え方に少し角がとれたような若いお母さん方の表情でした。

◇お人形をつくって

一人のおばあちゃんが言いました。

「私はどんな話でも子供のなっとくのいくまで話してきかせます。私は昔人間でなんにもわかりませんが、人形を一ッつくっておいて花子さんと名づけ、子供がいう事をきかぬ時は、その花子さんと話をすると気をもんでいう事をききます。」

なんてすてきなおばあちゃんだというふうにみんなが笑いました。

◇子供に「とんと」物語を

増尾先生は更に「子供は大変お話をききたがるもので、とんと話はとてもよい事だと思う小さい時からきかされるおとぎ話は、道徳のはじまりであって、子供の年令にふさわしい童話をつくって話してやれるお母さんになってほしい。

童話には季節の表現をよくおりまぜること。人間と季節は切り離す事のできぬもので、お母さんの　とんと話で色々の夢をもった情緒ゆたかな人間をつくり上げる事になる。」

それについてもう一人のおばあちゃんは

「私も何人かの子供を生みましたが、子供を寝かせるときはみんなとんと昔話をきかせてやりました。

その次は、その次はときたがるうちに、いつの間にかねむってしまいます。」と。

× ×

若いお母さん方はなるほどとうなずきました。それはお姑さんの固い心をほぐしていくには子供を中心に話合う機会を多くつくるということに全く同感のうれしい表情でした。

A君の話

（四）

杉田　優

あんな活劇のあった翌日の日曜のこと、私と日直のMさんとが雑談しているところにねぼけ顔でA君が来た。「ごめんなサイ」彼のサ行音はth に近い。英語教師の習性なのか、生国の東北弁のなまりから来るのか、アクセントにも妙なニュアンスがある。彼は軽くおでこで会釈して、すうっと電話室にいった。洩れてくる声にそれとなく耳を傾けていると、彼は入院分娩がどれ位だとか、食事や付添のことをこまごまと頼ねている。Mさんの目つきでうかつな私も裏さんのことだなと察した。とたんに電話は落んだ。「いつ生まれるの」と私は聞いた。「いやアまだですがね。研究しておかないとー。何しろ初児ですからねえ」と難産をいくどと体験したような調子である。

「入院するのかね。心配なくていいだろうが、付添だの食事だの…大変だろ」

「いやアそういうことよりも、安あがりなんですよ。…実はタダなンで」

「ただ？それはまた」

Mさんと私は、へたな芝居のような、同晋を発した。入院分娩が無料とはどんな方法があるのかと見当もつかない。

「あの共済会や保険で？」

Mさんはその方の係なのだ。ふにおちないといった尋ね方である。

「そうですね」A君は悠然と紫煙をあげた。

「健康保険もいくらか割安でしょうが…とにかくあたりまえではタダってわけにいきませんよ。

家内の親戚の者が県で医療の方に関係してるンでねえ。うまい方法が解ったンですよ。普通の場合入院分娩は半額でしょう例の共済会を使えばね…ところがねえ、方法はあるンですよ」

A君は湯呑を取上げた「脚気か何か、とにかく普通の病気で先づ入院させるンです。それだけなンですよ。共済会が半額と健康保険がまた半額、つまりタダなんですよ。おまけにあの病院は食事付なんで付添にちょと心づけすればあとは全然いらないってわけです。…時にMさん、あの方はいくらだっけねえ」分娩費の給付のことである。Mさんはその方なら精しいものだ。共済会からは本俸の半額、保育料は六ヶ月、見舞金はどこどこと説明していた。A君は指を折りだした。五本の指が寝たり起きたりした。

見舞金の貰えるところを数えているようであった。英語選択する生徒には進学などの関係もあって父兄とも私的な交渉も生じている。その筋は私達には解らないことだ。

「すると、大体本俸の半額はもうかるな。どれあそことあそこと」A君の計算には念が入る。とにかく私は心底から感服した。成程ナはあるもんだなアー。

マカロニのホワイトソース煮

材料　五人前

マカロニ一五〇グラム（四〇人）　玉葱一五〇グラム（一コ）　キャベツ二五〇グラム（中五枚）　ホーレン草一〇〇グラム（大二枚）　ハム一〇〇グラム　小麦粉五〇グラム（大サジ小山三）　牛乳二〇〇グラム（一合）　スープ又は水三〇〇グラム（一合五勺）　油五〇グラム（大サジ四杯）　塩　コショウ　少々

作り方

マカロニはやわらかくゆでておく。ホーレン草は鍋で空むしにして水に洗って一センチ位に切っておく。

玉葱とキャベツは一センチ角に切って油にいためる。火が通ったら小麦粉を入れ牛乳スープでのばし、塩コショウで味をつけ最後にマカロニとホーレン草を入れる。深めの皿に盛って千切にしたハムを散らして熱い中にいただきます。

寒い冬にはとてもおいしい料理です。

指導　新津市保健所

季節の料理

第一回駅伝 天ケ沢チーム優勝

小須戸町一周駅伝競走は町陸協主催で十一月三日、七チームが参加して午前十一時小須戸町一周コースで行なわれた。

記録は次の通り

天ケ沢　一時間六分四四秒
矢代田　一時間八分三二秒
新保　一時間十分三九秒
横川浜　一時間十一分四十秒
四番町A　一時間十四分十七秒

公民館に時計をプール建設募金へ

バザーの利益を

連合婦人会より寄贈

連合婦人会では町の茶の間として、たくさんの方から利用されている公民館会議室に「こすど時間」をなくし時間厳守で明かるい集会を持つ為にと電池式掛時計を一個、また子供達の為のプール建設募金にと文化際バザーの利益金壱万円それぞれ寄贈された。

いつもながらの婦人会の御好意に対し当局から深く感謝されている。

新会員募集

会員バッチ図案公募

山岳会

山岳愛好家の御入会をお待ち致します。

男女年令は問いません。

——○——○——

山岳会では会員のバッチ図案を公募致しております。山岳会にふさわしい図案で必ずK・A・Cの記号を入れて下さい。採用分には謝礼を進呈致します。用紙は問いません

申込先及び送り先

公民館又は会員宅

締切り　一月五日

日時　一月十六日午前九時半
会場　小須戸中学校 体育館
第十二回 町民芸能大会

正月の催しとして一日にしましょう

みんなで楽しい

さあ家中そろって考えましょう！ 第11回懸賞クイズ

次の1から9までの事がらのうち、あとの病名に関係のある事がらを一つずつ選んで、その番号を表の中に書き入れて下さい。

1 ある種のホルモンの分泌異常。2 日光の不足。3 甘いものの食べすぎ。4 ある種の病原体の血管への侵入。5 ビタミンAの欠乏 9 うす暗い所で続ける長時間の読書や作業 7 ビタミンCの欠乏 8 子供の頃の正しくない姿勢。9 ビタミンBの欠乏。

病名	番号
一 くる病	
二 かっけ	
三 とり目	
四 糖尿病	
五 かい血病	

◎答をはがきに書いて「公民館内広報クイズ係」締切り一月五日まで

前回の解答

(1)町長 (ハ)長谷川鉄太郎 (2)教育長 (ニ)佐藤五郎 (3)中学校長 (ヘ)坂井富三郎 (4)小須戸小学校長 (ワ)岩谷周次 (5)矢代田小学校長 (ヲ)田村正男 (6)警察署長 (ヨ)藤井俊人 (7)矢代田駅長 (ト)野中良助 (8)郵便局長 (ロ)五十嵐徳次 (9)農業協同組合長 (リ)丸山清三郎 (10)商工会長 (ハ)加藤徳七 (11)公民館長 (ヌ)宮崎純能 (12)消防団長 (カ)笠原平四郎 (13)連合婦人会長 (タ)千葉キヨ (14)連合青年団長 (ヤ)会田良治 (15)町会議長 (イ)白井門蔵 (16)教育委員長 (ヲ)海津政吉

正解者発表

新町　近藤庭一
上田町　松尾栄一
〃　松尾レン
一ノ町　須藤周平
天ケ沢　海津千鶴子
鎌倉斎藤三男

◎賞品は公民館でお受け取り下さい。

十二月 購入図書

◇くすりの花みち　李家正文
◇死者の誇り　大江建三郎
◇お嬢さん放浪記　犬養道子
◇結婚なんて　三宅艶子
◇人とつき合う法　河盛好蔵
◇料理のお手本　辻留
◇檜山兄弟（上下）　吉川英治

珠算競技大会

種目　見取算　乗除算　読上算　暗算
競技方法　個人　小学校の部　中高校の部
期日　一月六日　小学校午前九時　中高校午後一時
会場　公民館二階
申込当日受付

◇癌（日本人の幸福のために）　中山恒明
◇にあんちゃん（十歳の少女の日記）　安本末子
◇恋愛晴雨計　林二九太
◇頭脳（才能をひきだす処方箋）　林髞

◇女の三章　白川渥
◇沖縄の民話　伊波南哲
◇娘の中の娘　源氏鶏太
◇氾濫　伊藤整
◇若い川の流れ　石坂洋次郎
◇夕鶴日記　下巻　富田常雄
◇三界飛脚　前編　村上元三
◇染められた感情　丹羽文雄
◇野獣死すべし　大藪春彦
◇女面　円地文子
◇首のない女（世界推理）　ロースン
◇からす組子母沢寛
◇胃腸病の治し方　堀内信
◇海と毒薬　遠藤周作

お正月の読みもの

◇頭脳　林髞

今日は頭脳戦時代だ。頭の使い方ひとつで、あなたの人生はすばらしくもなり、ダメにもなる。

この本は、この激しい頭脳戦時代の要望に即して頭の働きを研究する大脳生理学の立場から、頭の効果的な使い方を解きあかす本。

◇癌　中山恒明

ガンの世界的名医中村博士が、多数の人々を救った貴重な体験から、ガンを心配する人々に、その対策を懇切に指導した良書である。

◇男性飼育法　三宅艶子

実例を基にユーモラスに語る。男女それぞれの立場から恋愛、結婚、家庭生活の隅々にわたって一々卑近な実例を示して或は痛烈に或はユーモラスに著者が体験により執筆されたもの。

◇くすりの花みち　李家正文

良薬は口に苦がし良書は読んで楽し薬にのまれた人が読んで効く処方箋

◇氾濫　伊藤整

現代人の心の奥底にうごめく欲望、人間の内面心理をいちいち暴いてたんねんに説明した作品

◇人とつき合う法

昔の賢者は人生読本を書いて、私達をおしえてくれました。今の賢者は人とつき合うむずかしさを私達と共になげきますイヤなやつ、ライバルについて、ガールフレンド等、自らの体験を通して語る三十五講。

第二十二回囲碁将棋大会

期日　一月十五日午前九時　受付
会場　小須戸町公民館二階
会費　五十円
同好者お誘い合せの上一日楽しみましょう
主催　囲碁将棋クラブ　公民館

文化祭句会

小須戸町俳句同好会

病窓に柿熟れし故郷偲びけり　雲竜
初霰つかめば失せて女孫ら　紫川
沼の秋短かく淋し萩すゝき　山葵
文化祭子の作品をたのしみに　溪灯
朝の卓柚子一片のかおりかな　杏水
街路樹にたわむる如し秋の風　水月
行く秋を山頂青き灯を点す　虚秋
雑踏にひそかに腥を見送れり　樫夫
新米の柔か気味に炊きあがり　向日葵
研ぎ水を流す井戸端柿紅葉　竜朗
山脈のうすれ八つ手の花持てり　旺賓
薬草も離の菊も稲はこり　冬川
鍬の土たゝく音して暮るゝ秋　香月
薬飲む母に秋灯まぶし過ぎ　まつし
雨の中づしりと柿の車つく　石秋
口に釘大工の視野に渡り鳥　越樸
バスは行く九十九折道尾花垂る　洗水